

【11月3日から一般公開】

町指定文化財

# 坂本東嶽邸

平成22年11月から耐震改修工事のために閉鎖していた美郷町指定文化財「坂本東嶽邸」の母屋を、11月3日から11月30日まで一般公開します。12月1日から平成25年春までは冬期閉鎖しますので、この機会に是非ご覧ください。

「坂本東嶽邸」は、旧千屋村（現美郷町千屋地区）の村づくりの基礎を築いた坂本理一郎氏（文久元年〜大正6年）の邸宅です。平成4年に坂本氏の親族から旧千畑町に寄贈され、その後、家屋・蔵の補修、庭園整備、茶室の復元などを行い、平成7年から平成22年11月まで公開していました。

現存する家屋は、明治29年に発生した陸羽地震後に建築された明治中期の建物で、当時の4分の1程度に解体されています。家屋に隣接する庭園は京都の庭師が築庭したもので、現在までほぼ同じ景観を残しています。毎年紅葉の季節には赤と緑の対比が鮮やかとなり、隠れた紅葉の名所になっています。この機会には非お越しく下さい。

一般公開期間●11月3日(土)～11月30日(金) (期間中、毎週月曜日は休館日)

開館時間●午前9時～午後5時

観覧料●一般210円、小・中学生100円

園 町教育委員会生涯学習課歴史文化財班 ☎0187(84)4040

## 坂本東嶽邸 秋のお茶会

坂本東嶽邸の茶室で千畑茶道同好会によるお茶会を開催します。風情ある茶室で本格的なお茶をお楽しみください。

日時●11月3日(土) 午後1時～午後4時  
参加料●300円 ※別途、観覧料が必要です。

團 町教育委員会生涯学習課歴史文化財班  
☎0187(84)4040



# 郷土の偉人 坂本東嶽翁

■松杉並木 ■坂本理一郎氏 (写真:美郷町学友館所蔵)

坂本理一郎氏は、文久元年(1891年)に千屋村小森で生まれました。理一郎氏は漢詩を嗜んだ文化人でもあり、「東嶽」は用いていた雅号の一つです。

理一郎氏は12歳で上京し、14歳から慶応義塾で学びました。20代で秋田県議会議員、30代で衆議院議員を務めますが、開弁が遅れている地方農村を憂い、36歳の時に代議士を辞職して郷里に帰り、「理想の村づくり」構想の実現に着手します。

構想の第一は、中心部の構成と道路網の整備でした。一丈木台地を公園化し、その下に役場、学校、公会堂、農会、郵便局などの公共施設を配置して村の心臓部にしました。更に各集落に向かう6本の道路を放射状に配し、道路の両側には松・杉を植えて並木道にしました。

構想の第二は、農業生産性の向上でした。千屋村農会が設立されると

初代会長となり、他県から講師を招いて農事講話会を開催したり、肥料作成の実地指導をするなど先進的な取り組みを行いました。

構想の第三は教育の振興で、千屋青年会を結成し、農閑期を利用して討論会や演説会などを行いました。また、仙北郡教育会会長も務め、郡内の教育進展にも尽力しました。

明治37年、44歳で貴族院議員に勅任されますが、47歳で辞職。その後、一切の公職を辞して静岡県で療養生を送りましたが、大正6年に57歳で逝去しました。墓石の揮毫は、慶応義塾時代からの友人である犬養毅氏の手によるものです。

郷土を愛し、私心の無い高潔な人格は「東嶽精神」として広く尊敬の念を集めました。理一郎氏を慕う人々によって建立された銅像が今も一丈木公園にあり、人々の暮らしを見つめています。

